SANUS™
VUEPOINT

Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN
お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ
〒559-0031　大阪市住之江区南港東１丁目２－１６
ネットワークジャパン株式会社　TEL 06-6612-2008 FAX 06-6612-2050
http://www.network-jpn.com/　E-mail : info@network-jpn.com

F55b ver1.4NY-1

SANUS™
VUEPOINT

F55ｂ壁掛金具
取 扱 説 明 書

----- 重量 58kg 以下 の薄型テレビの取り付けに適用 -----

この度は、F55ｂ 壁掛金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
F55ｂ は 32V 型～ 80V 型の薄型テレビの取付用です。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

本製品をご利用になるお客様へ
本製品の取り付けには、特別な技術や確実な作業が必要となります。 必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ
薄型テレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では一切の責任を負いません。

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠	**警告**　人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。
⚠	**注意**　人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠	人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。（してはいけない禁止内容）
⃠	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容）
❗	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。（気をつける内容）

⚠警告

⚠ 禁止
壁の強度は少なくともテレビと壁掛金具を合わせた重量の５倍の重量に耐える強度が必要です。
F55ｂ 壁掛金具は、32V 型～ 80V 型で、総重量 58kg 以下の液晶等の薄型テレビを、木柱又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。
これらの最大耐荷重以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。
又、木製やコンクリート以外の（鉄骨製などの）壁面には取り付け出来ません。
この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。

⃠
工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。

⚠
取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。

⃠
荷重に耐えられない場所には取り付けないで下さい。
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。

⃠
湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けないで下さい。
又、エアコンの上や下にテレビを取り付けないで下さい。 テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。

⚠ 禁止
組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。
指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。

❗
テレビの取り付けや取り外し作業は２人以上で行って下さい。
テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。

⚠ 禁止
本製品には小さな部品が同梱してあり、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、お子様の近くにこのような部品を置かないで下さい。
又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですからお子様を周囲に近づけないで下さい。

⃠
取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。

❗
組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損してないことを確認してください。
足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン（株）に連絡して下さい。
尚、破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。

❗
壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。

⃠
ネットワークジャパン（株）は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して一切の責任を負いません。

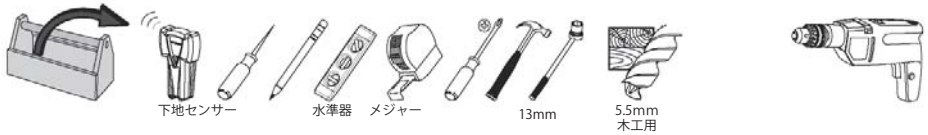
F55b ver1.4NY-2

Memo

Memo

重要　本製品を使用する前に、この説明書をよくお読み下さい。又この説明書は、大切に保管して下さい。

必要な工具類



仕様

耐荷重　　：58kg（テレビと付属品を含みます）
適応テレビサイズ：32V 型～ 80V 型

※左記を超過しないようにして下さい。

注意 : ケガをしたり、壁面を破損しないように次の点に注意してください。

★ 用途以外の目的で本製品を使用しないでください。

★ ご利用の壁面は、テレビと壁掛金具の総重量の 5 倍を支えられなければなりません。

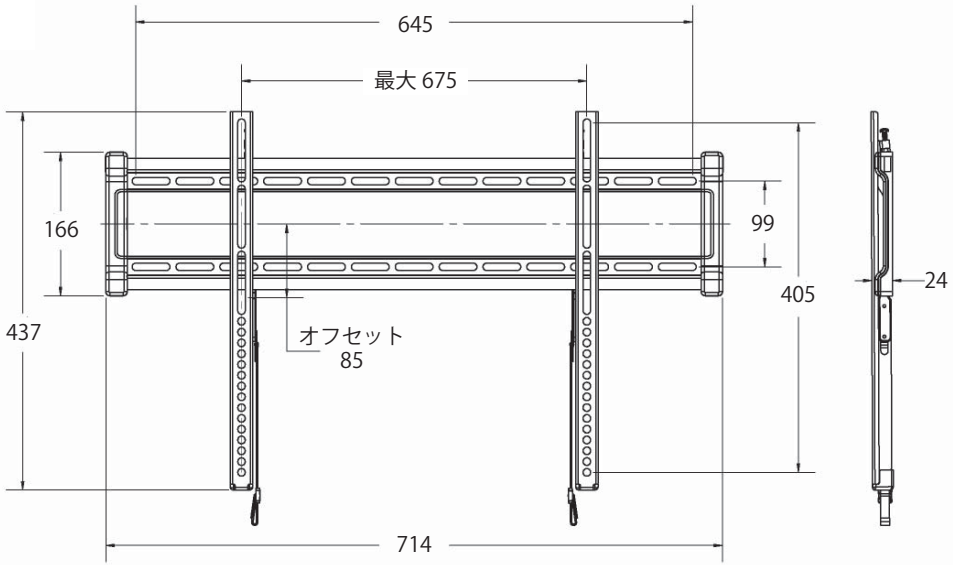
★ 本製品は金属製柱の壁での使用には適していません。

★ ここに記載される内容が解らない場合、または製品の取り付け、組み立てや仕様、その他ご質問がある場合は、ネットワークジャパン（株）又は認定業者にお問い合わせください。

★ 付属の部品はすべて使用する必要はありません。ご利用の環境に合わせて必要な部品をお選びください。また、ご利用の環境によっては別途、お客様において部品をご用意いただく必要があります。

外 観 図

単位 mm



ver1.4NY-3

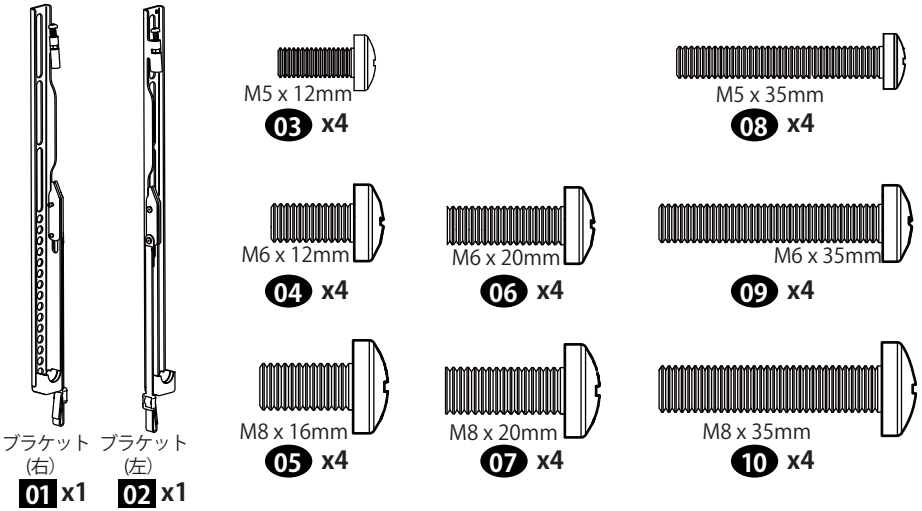
付属の部品類

⚠ **警告**：本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

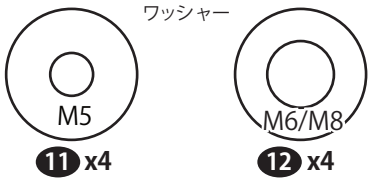
組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことをご確認下さい。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン（株）までご連絡下さい。破損した部品は絶対にご使用にならないで下さい。

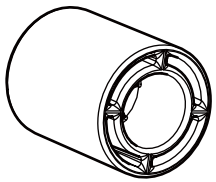
参考： M4、M5、又はM6 は直径を指し、mm は「M# X ##mm」の表記において、ネジの長さを指します。付属の部品類をすべて使用するとは限りません。

STEP 1で使用する部品　1



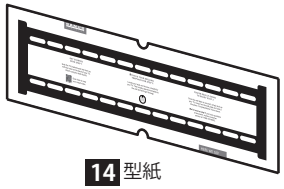
STEP 1で使用する部品　2



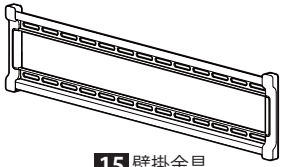


13 x4 スペーサー(22MM)

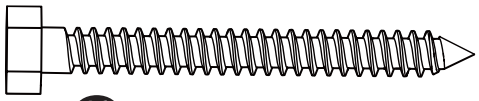
STEP 2で使用する部品



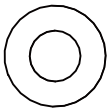
14 型紙



15 壁掛金具



16 ×4 木柱用ラグボルト
5/16x 2 3/4インチ

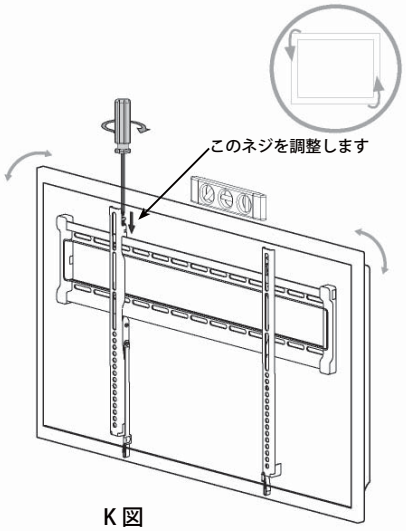


17 ×4
ラグボルト用ワッシャー

F55b ver1.4NY-4

水平度の調整 , 及びテレビの取り外し方

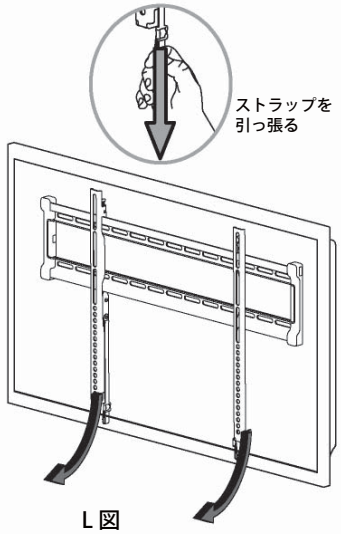
水平度調整



K 図

テレビの水平度は、必要があればブラケット [01, 02] の図に示したネジを締め付けたり緩めたりして、調整します。

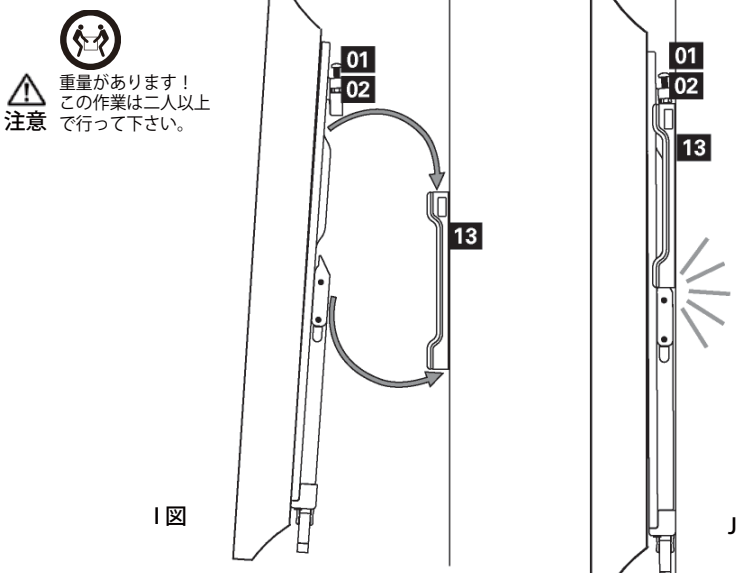
テレビの取り外し方



L 図

テレビを取り外すには、図のようにストラップを下方向に引っ張ってロックを外し、テレビを持ち上げて、壁掛け金具から取り外します。

テレビを壁掛け金具に取り付ける

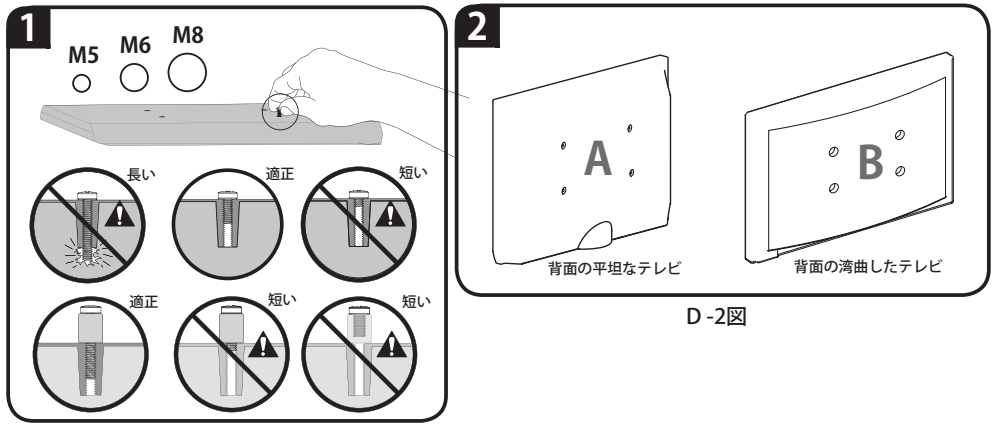


I 図　　J 図

STEP 1 で取付けたテレビ/ブラケットを水平にして、ブラケットの上部のスリットを壁掛け金具[13] の上部のひさしに引っ掛けて取り付けます。その後、ブラケットの下部は壁面の方向に押し付けます。各部品が所定の位置に正しく収まると、カチッという音がしてロックされます。

STEP 1　テレビに取付ける部品を選択し、テレビにブラケットを取り付ける

⚠ **注意：** ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。
ねじ込んでいる時にもし抵抗があった場合、直ちにねじ込みを中止して下さい。使用するネジが長過ぎる場合、テレビの内部を破損する恐れがありますので十分ご注意下さい。 同梱のネジ以外の寸法のネジが必要な場合には、別途市販のネジを各自でご用意下さい。



D -2図

D -1図　テレビの取付に必要なネジの口径を選択する

1．お使いのテレビのタイプによって、使用する部品が変わります。テレビの背面のネジ穴に手でネジをねじ込んで試し、正しいネジの直径 (M5、M6、またはM8) を選択します。

2．壁掛金具をご使用になるテレビの背面が平坦かどうか、壁面とテレビの間にケーブル類を配置するためのスペースが必要かどうかを確認します。

・ご使用のテレビの背面が平坦であり、ケーブル類を通すためのスペースが必要ない場合は、
STEP 1 -Aに進んで下さい。

・ご使用のテレビの背面が湾曲していたり、ケーブル類を通すためのスペースが必要な場合は、
STEP 1 -Bに進んで下さい。

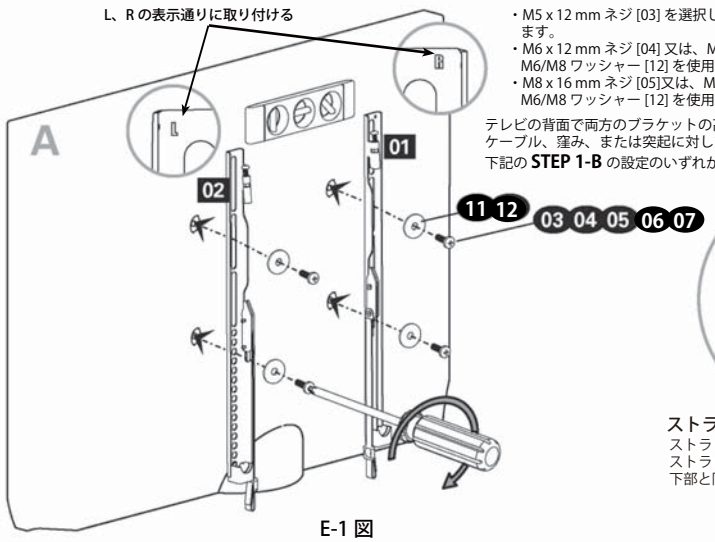
F55b ver1.4NY-5

STEP 1 -A 背面が平らなテレビにブラケットを取り付ける場合

5ページ での選択に応じて、部品を選択します。

- M5 x 12 mm ネジ [03] を選択した場合、M5 ワッシャー [11] を使用します。
- M6 x 12 mm ネジ [04] 又は、M6 x 20 mm ネジ [06] を選択した場合、M6/M8 ワッシャー [12] を使用します。
- M8 x 16 mm ネジ [05]又は、M8 x 20 mm ネジ [07] を選択した場合、M6/M8 ワッシャー [12] を使用します。

テレビの背面で両方のブラケットの高さが同じになるようにして下さい。ケーブル、窪み、または突起に対して余分なスペースが必要な場合は、下記の **STEP 1-B** の設定のいずれかを選択して下さい。



E-1 図

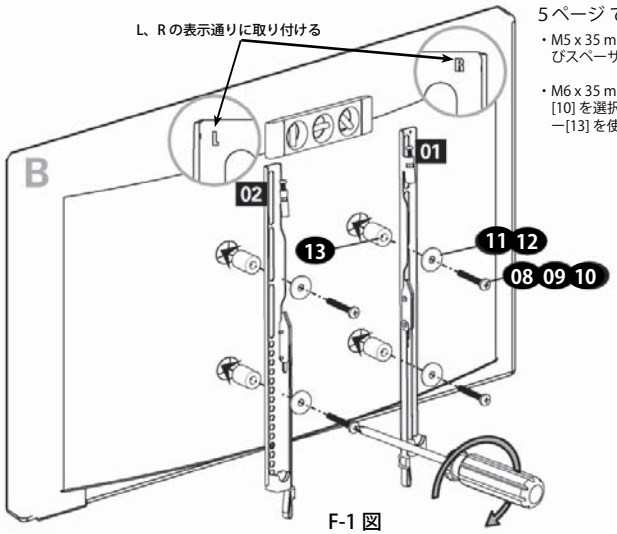
ストラップの調整
ストラップに手が届くようにする為に、ストラップの長さは、図のようにテレビの下部と同じ位の位置に合わせます。

E-2 図

STEP 1 -B 背面が平らではないテレビにブラケットを取り付ける場合

5ページ での選択に応じて、部品を選択します。

- M5 x 35 mm ネジ[08] を選択した場合、M5 ワッシャー[11] およびスペーサー[13] を使用します。
- M6 x 35 mm ネジ[09]を選択した場合、及びM8 x 35 mm ネジ[10] を選択した場合は、M6/M8 ワッシャー[12] およびスペーサー[13] を使用します。



F-1 図

ストラップの調整
ストラップに手が届くようにする為に、ストラップの長さは、図のようにテレビの下部と同じ位の位置に合わせます。

F-2 図

STEP 2 壁掛金具を取り付ける --- 木柱への取付例 ---

警告: 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと壁掛金具の総重量の5 倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

また、**コンクリート壁への施工は可能です**が、施工に必要な部品は同梱していません。施工されようとする壁面が構造や強度的に施工可能かどうか、必ず工事業者様が専門的に診断の上、別途、必要な部品をご用意の上適切な施工をお願いします。

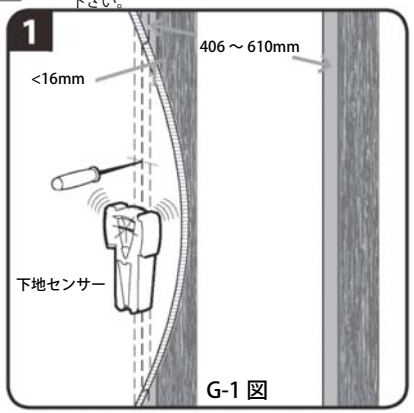
なお、本壁掛金具は、木柱の無い石膏ボード自体や鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故の発生する場合があります。

施工の条件：★ 壁面覆う石膏ボードや壁面パネル・壁紙等の厚みは、16 mm以下にしてください。
★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅38mm奥行き89mm以上が必要です。また、柱への取り付け間隔は406mm以上 610mm以内にして下さい。
★ 柱の中心位置は、必ず確認してください。各家屋毎の柱の寸法は必ずしも規格のサイズではありません。

1．木柱の位置を探す

千枚通しや細い釘などを使うか、または下地センサーを使って、木柱の中央位置を確認します。

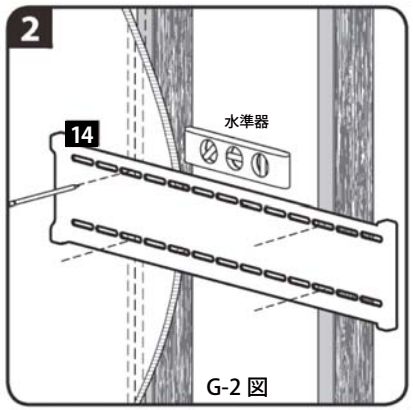
注意：ケガをしたり、壁面を破損しないように注意して下さい。



G-1 図

2．壁面に印を付ける

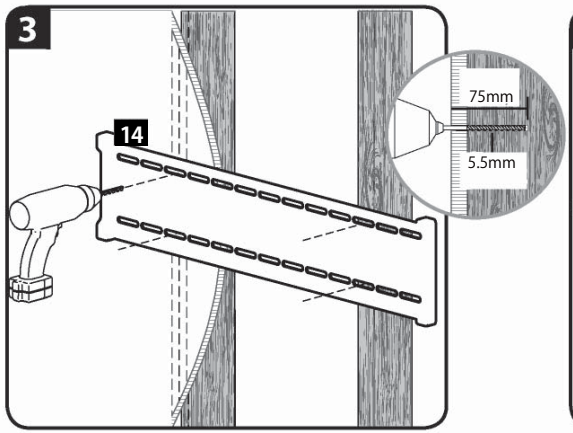
型紙[14]を水平に置いて、木柱中心の取付穴位置に、4箇所に印を付けます。 柱への取り付け間隔は406mm以上 610mm以内にして下さい。



G-2 図

3．下穴を開ける

下穴は、5.5mm 径のドリルを使って、深さ 75 mm の穴を 4 箇所開けます。

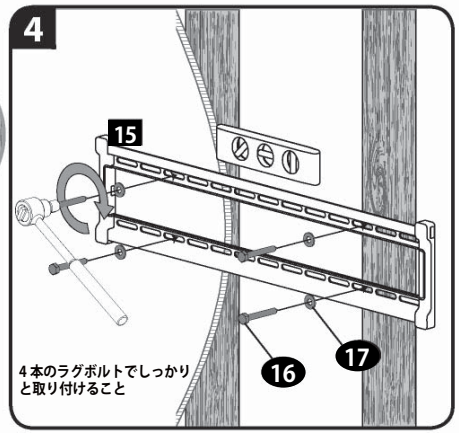


G-3 図

4．ラグボルトをねじ込む

注意：不適切なラグボルトの取付は、保持力を弱め、薄型テレビをしっかりと支えることができません。

★ ワッシャー[17] と壁掛け金具[15] の間に隙間ができない程度にしっかりとラグボルト[16]を締めます。
★ 必要以上にラグボルト [16] を締めすぎないで下さい。



G-4 図